2-636-560-**02**(1)

Data Projector

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この簡易説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この**取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VPL-CX20
VPL-CS20

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください（有料）。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたりキャビネットを破損したときは**

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

高温

破裂

手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号

接触禁止

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性―第 3-2 部：限度値―高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電源接続時のご注意

JP

本機を国内でご使用の際は付属の電源コードを、国外でご使用の際は以下の表を参照してその国／地域の規格に適合する電源コードをご使用ください。

	アメリカ合衆国、カナダ	**ヨーロッパ諸国、韓国**	**イギリス**	**オーストラリア**	**日本**
プラグ型名	YP-11	YP-21	SP-61	B8	YP-13
コネクタ型名	YC-13L	YC-13L	YC-13L	C7-2	YC-13L
コード型名	SPT-2	H03VVH2-F	H03VVH2-F	H03VVH2-F	VCTFK
定格電圧・電流	10A/125V	2.5A/250V	2.5A/250V	2.5A/250V	7A/125V
安全規格	UL/CSA	VDE	BS	SAA	電安
コード長さ（最長）	4.5m	–	–	–	–

下記の注意を守らないと、火災や感電により、死亡や大けがにつながることがあります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。
- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに交換をご相談ください。

指定された電源コード、接続ケーブルを使う

取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

レンズをのぞかない

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。
- 壁から 30cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- 立てて使用しない。
- プロジェクターの下に布や紙を敷かない。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

床置き以外の設置をしない

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

コネクターカバーは幼児の手の届かないところへ保管する

お子様が誤って飲むと、窒息死する恐れがあります。
万一誤って飲み込まれた場合はただちに医者に相談してください。
特に小さなお子様にはご注意ください。

長時間の外出、旅行の時は、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意 下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えることがあります。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に置かない

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない。

火災や感電の原因となることがあります。

本機を立てておかない

保管や、一時的に立てておくと倒れて思わぬ事故の原因になり危険です。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない。

火災の原因となることがあります。

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らない。

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

アジャスター調整時に指を挟まない

本機は、電源を入れると電動チルトアジャスターが自動的に伸張し、電源を切ると自動的に収納されます。電動チルトアジャスターの自動動作中はアジャスター付近に手や指などを近づけないでください。また、自動動作が終了した後、電動チルトアジャスターを調整する場合は、アジャスターに手などが触れないよう慎重に行ってください。電動チルトアジャスターに指を挟み、けがの原因になることがあります。

磁気によりデータ破損など考えられる物を近づけない

コネクターカバー、AUDIO/VIDEO 端子上部にはマグネットを使用しているので、磁気によるデータ破損などが考えられる物を近づけないでください。

設置の際、本機と設置部分での指挟みに注意する

設置する際、本機と設置部分で指を挟まないように慎重に取り扱ってください。

排気口周辺には触れない

排気口周辺はランプの熱で温度が高くなっています。手などを触れると火傷の原因となります。

定期的にエアーフィルターをクリーニングする

約 500 時間使用したら、必ずエアーフィルターのクリーニングをしてください。
クリーニングを怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1 年に 1 度は、内部の掃除をお買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

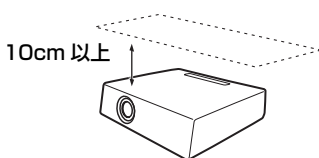
運搬する際は、キャリングケースを使用する

本機をキャリングケースに入れずに運搬すると、落下してけがや故障の原因となることがあります。

充分に冷えた状態でキャリングケースに収納する

電源を切った直後に本機をキャリングケースに収納すると、熱がこもるためキャビネットの温度が上がり、次に本機を取り出す際にやけどの原因となります。
本機をキャリングケースに収納する際は、クーリングが終了し、ファンが止まってから充分冷えた状態で収納してください。

本体上部には 10cm 以上の空間をあけて設置する

本機は電動でチルトアジャスターが伸び、それに応じて本体の高さが高くなります。本体上部に充分な間隔をとって設置しないと、本体が設置された場所の上部の壁、棚などの間に手を挟み、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機での使用が可能なソニー製リチウム電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

・電池の液が目に入ったら

↓

すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。

・煙が出たら

↓

お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターに連絡する。

・電池の液が皮膚や衣服に付いたら

↓

すぐにきれいな水で洗い流す。

・バッテリー収納部内で液が漏れたら

↓

よくふき取ってから、新しい電池を入れる。

破裂

高温

下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れ・誤飲により、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。

- ボタン型リチウム電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。万が一飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
- リチウム電池は充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

注意

破裂

下記の注意事項を守らないと、破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

- 投げつけない。
- 使用推奨期限内（リチウム電池に記載）の電池を使用する。
- ⊕と⊖の向きを正しく入れる。
- 電池を入れたまま長期間放置しない。
- 水や海水につけたり濡らしたりしない。

警告

電池は、間違ったタイプと交換した場合、**破裂の危険があります。**
使用済み電池は、地域のルールに従って処分してください。

ランプについての安全上のご注意

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、つぎのような特性があります。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがある。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがある。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがある。
- 交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなる。「ランプを交換してください」というメッセージが表示されたら、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

⚠警告

火災　感電

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、**電源を切ってから1時間以上**たって、充分にランプが冷えてから行ってください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する

動作中に大きな音がして画像が映らなくなった場合は、ランプが破裂した可能性があります。ランプが破裂した際には、本機内部にガラス片が飛散している可能性があります。すみやかに使用を中止し、**テクニカルインフォメーションセンターにランプの交換と内部の点検を依頼**してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには微量の水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、速やかに医師にご相談ください。

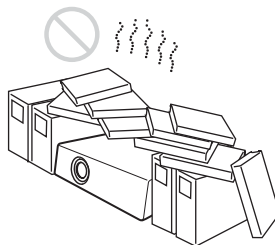
本機または使用済みランプを廃棄する場合

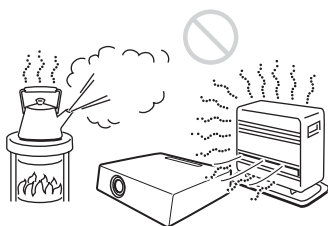
本機のランプの中には水銀が含まれています。廃棄の際は、一般の廃棄物とは一緒にせず、地方自治体の条例または規則に従ってください。

設置・使用時のご注意

設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

風通しが悪い場所

・吸気口および排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。
・吸気口や排気口がふさがって、内部の温度が上昇すると、温度センサーが働き、「セット内部温度が高いです。1分後にLAMPオフします。」という警告メッセージが表示され、1分後に自動的に電源が切れます。
・本機の周囲から30cm以内には物を置かないようにしてください。
・吸気口には小さな紙などが吸い込まれやすいのでご注意ください。

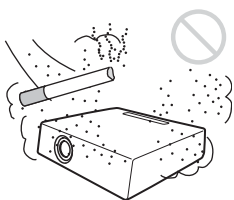
温度や湿度が高い場所

温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

空調の冷暖気が直接当たる場所

結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

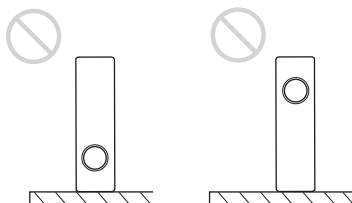
熱感知器や煙感知器のそば

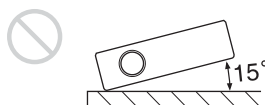
感知器が誤動作する原因となることがあります。

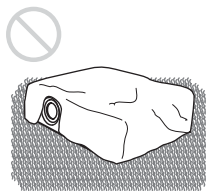
ほこりが多い場所、たばこなどの煙が入る場所

ほこりの多い場所、たばこなどの煙が入る場所での使用は避けてください。この様な場所で使用するとエアフィルターがつまりやすくなったり、故障や破損の原因となります。また、エアフィルターの汚れは内部の温度が上昇する原因になるので定期的に掃除してください。

使用に適さない状態

次のような状態では使用しないでください。本機は天吊には対応していません。

本機を立てて使用する

本機を立ててお使いになることは避けてください。故障の原因となります。

本機を左右に傾ける

本機を 15 度以上傾けたり、床置き以外の設置でお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

吸排気口を覆う

吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしたり、毛足の長いじゅうたんなどの上では使用しないでください。吸排

気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

レンズの前に遮蔽物を置く

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らないでください。遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。

高地で使用する場合

海抜1500m以上でのご使用に際しては、設置設定メニューの「高地モード」の設定を「入」にしてください。「切」のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

使用上のご注意

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。**これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。**

スクリーンについて

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によって、まれに画面上に縞模様が現れる場合があります。これは本機の故障ではありません。

結露について

本機の設置してある**室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因**となりますので冷暖房にご注意ください。

結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約2時間放置しておいてください。

ファンの音について

本機の内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。

・集光形のダウンライトにする。
・蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
・太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
・光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れについて

・キャビネットやパネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。なお、お手入れの際は必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

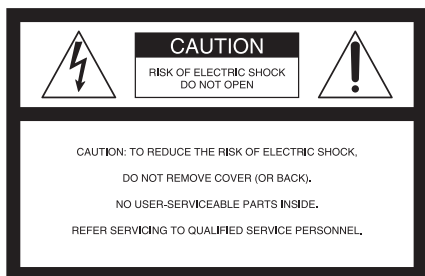
・レンズプロテクターに指紋やゴミがついて汚れたときには、眼鏡ふき用などの柔らかい布でふいてください。また、固いもので傷つけたりしないように、ご注意ください。
・必ず定期的にフィルターのクリーニングをしてください。

持ち運びをするときは

本機は精密機器です。本機をキャリングケースに入れて持ち運びするときは、衝撃を与えたり、落としたりしないでください。破損の原因となります。また、本機をキャリングケースに収納する際には、電源コード及び全ての接続ケーブルやカード類をはずし、付属品は付属品入れに収納してください。

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

This symbol is intended to alert the user to the presence of uninsulated "dangerous voltage" within the product's enclosure that may be of sufficient magnitude to constitute a risk of electric shock to persons.

This symbol is intended to alert the user to the presence of important operating and maintenance (servicing) instructions in the literature accompanying the appliance.

For the customers in the USA

If you have any questions about this product, you may call:
Sony Customer Information Service Center
1-800-222-7669 or http://www.sony.com/
The number below is for FCC related matters only.

Declaration of Conformity

Trade Name: SONY
Model No.: VPL-CX20/CS20
Responsible Party: Sony Electronics Inc.
Address: 16450 W. Bernardo Dr,
San Diego, CA 92127 U.S.A.
Telephone Number: 858-942-2230

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:
– Reorient or relocate the receiving antenna.
– Increase the separation between the equipment and receiver.
– Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
– Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

For the customers in Canada

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Voor de klanten in Nederland

Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).

Disposal of Old Electrical & Electronic Equipment (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)

This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

The socket-outlet should be installed near the equipment and be easily accessible.

CAUTION

RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED BY INCORRECT TYPE. DISPOSE OF USED BATTERIES ACCORDING TO THE RULE IN REGION.

Precautions

Safety

- Check that the operating voltage of your unit is identical with the voltage of your local power supply.
- Should any liquid or solid object fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified personnel before operating it further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days.
- To disconnect the cord, pull it out by the plug. Never pull the cord itself.
- The wall outlet should be near the unit and easily accessible.
- The unit is not disconnected to the AC power source (mains) as long as it is connected to the wall outlet, even if the unit itself has been turned off.
- Do not look into the lens while the lamp is on.
- Do not place your hand or objects near the ventilation holes. The air coming out is hot.
- Be careful not to get your fingers caught in the adjuster. The powered tilt adjuster of this unit automatically extends when the power is turned on, and is retracted automatically when the power is turned off. Do not touch the unit while the adjuster is in operation. Adjust the powered tilt adjuster carefully after its automatic operation is completed.
- Do not spread a cloth or paper under the unit.

Illumination

- To obtain the best picture, the front of the screen should not be exposed to direct lighting or sunlight.
- Ceiling-mounted spot lighting is recommended. Use a cover over fluorescent lamps to avoid lowering the contrast ratio.
- Cover any windows that face the screen with opaque draperies.

- It is desirable to install the unit in a room where floor and walls are not of light-reflecting material. If the floor and walls are of reflecting material, it is recommended that the carpet and wall paper be changed to a dark color.

Preventing internal heat build-up

After you turn off the power with the **I/⏻** key, do not disconnect the unit from the wall outlet while the cooling fan is still running.

Caution

The unit is equipped with ventilation holes (intake) and ventilation holes (exhaust). Do not block or place anything near these holes, or internal heat build-up may occur, causing picture degradation or damage to the projector.

Cleaning

- To keep the cabinet looking new, periodically clean it with a soft cloth. Stubborn stains may be removed with a cloth lightly dampened with a mild detergent solution. Never use strong solvents, such as thinner, benzene, or abrasive cleansers, since these will damage the cabinet.
- If the lens protector becomes dirty because fingerprints or dust have accumulated on it, wipe the surface with a soft cloth like a glass cleaning cloth. Be careful not to scratch the surface of the lens protector with a hard object.
- Clean the filter at regular intervals.

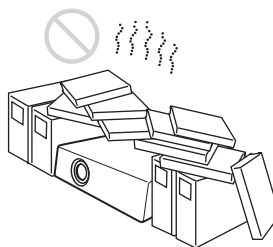
LCD data projector

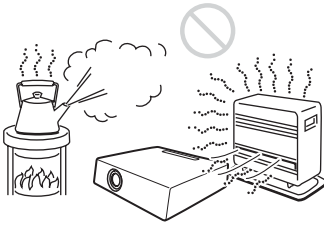
This LCD data projector is manufactured using high-precision technology. You may, however, see tiny black points and/or bright points (red, blue, or green) that appear continuously on the LCD data projector. This is a normal result of the manufacturing process and does not indicate a malfunction.

Notes on Installation and Usage

Unsuitable Installation

Do not install the projector in the following situations. **Installation is these situations or locations may cause a malfunction or damage** to the unit.

Poorly ventilated locations

- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes. When internal heat builds up due to blockage of ventilation holes, the temperature sensor will function, and display the message “High temp.! Lamp off in 1 min.” The power will be turned off automatically after one minute.
- Leave space of more than 30 cm (11 7/8 inches) around the unit.
- Be careful not to allow the ventilation holes to inhale tiny objects such as pieces of paper or clumps of dust.

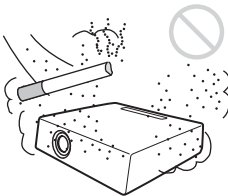
Hot and humid

- Avoid installing the unit in a location where the temperature or humidity is very high, or the temperature is very low.
- To avoid moisture condensation, do not install the unit in a location where the temperature may rise rapidly.

Locations subject to direct cool or warm air from an air-conditioner

Installing the projector in such a location may cause a malfunction of the unit due to moisture condensation or a rise in temperature.

Near a heat or smoke sensor

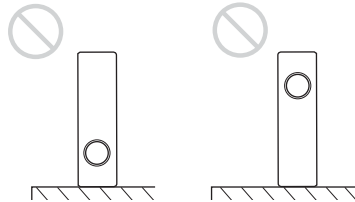
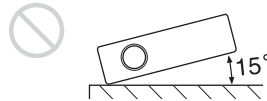
Malfunction of the sensor may occur.

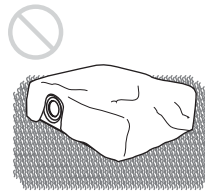
Very dusty, extremely smoky locations

Avoid installing the unit in a very dusty or extremely smoky environment. Otherwise, the air filter will become obstructed, and this may cause a malfunction of the unit or damage it. Dust preventing the air passing through the filter may cause a rise in the internal temperature of the unit. Clean the filter periodically.

Unsuitable Conditions

Do not use the projector under the following conditions. You cannot install the projector on the ceiling.

Standing the unit upright on one side

Avoid using the unit standing upright on its side. It may cause malfunction.

Tilting the unit to the right or left

Avoid tilting the unit to an angle of 15°, and avoid installing the unit in any way other than placing it on a level surface. Such an installation may cause color shading or shorten the lamp life excessively.

Blocking the ventilation holes

Avoid using a thick-piled carpet or anything that covers the ventilation holes (exhaust/intake); otherwise, internal heat may build up.

Placing a blocking object just in front of the lens

Do not place any object just in front of the lens that may block the light during projection. Heat from the light may damage the object.

Usage at High Altitude

When using the projector at an altitude of 1,500 m or higher, turn on "High Altitude Mode" in the Installation menu. Failing to set this mode when using the projector at high altitudes could have adverse effects, such as reducing
the reliability of certain components.

Note on carrying the projector

The unit is manufactured using high-precision technology. When transporting the unit stored in the carrying case, do not drop the unit or subject it to shock, as this may cause damage. When storing the unit in the carrying case, disconnect the AC power cord and all other connecting cables or cards, and store the supplied accessories in a pocket of the carrying case.

Note on the screen

When using a screen with an uneven surface, a striped pattern may rarely appear on the screen depending on the distance between the screen and the projector or the zooming magnification settings used. This is not a malfunction of the projector.

Warning on Power Connection

Use the supplied power cord when you use the projector in your country/region. Otherwise, use a proper power cord meeting the following specifications.

	The United States, Canada	Continental Europe, Korea	UK	Australia	Japan
Plug type	YP-11	YP-21	SP-61	B8	YP-13
Female end	YC-13L	YC-13L	YC-13L	C7-2	YC-13L
Cord type	SPT-2	H03VVH2-F	H03VVH2-F	H03VVH2-F	VCTFK
Rated Voltage & Current	10A/125V	2.5A/250V	2.5A/250V	2.5A/250V	7A/125V
Safety approval	UL/CSA	VDE	BS	SAA	DENAN
Cord length (max.)	4.5 m	–	–	–	–

AVERTISSEMENT

Pour réduire le risque d'incendie ou d'électrocution, placez cet appareil à l'abri de la pluie et de l'humidité.

Afin d'éviter tout risque d'électrocution, n'ouvrez pas le châssis. Confiez l'entretien uniquement à un personnel qualifié.

Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Traitement des appareils électriques et électroniques en fin de vie (Applicable dans les pays de l'Union Européenne et aux autres pays européens disposant de systèmes de collecte sélective)

Ce symbole, apposé sur le produit ou sur son emballage, indique que ce produit ne doit pas être traité avec les déchets ménagers. Il doit être remis à un point de collecte approprié pour le recyclage des équipements électriques et électroniques. En s'assurant que ce produit est bien mis au rebut de manière appropriée, vous aiderez à prévenir les conséquences négatives potentielles pour l'environnement et la santé humaine. Le recyclage des matériaux aidera à conserver les ressources naturelles. Pour toute information supplémentaire au sujet du recyclage de ce produit, vous pouvez contacter votre municipalité, votre déchetterie ou le magasin où vous avez acheté le produit.

La prise doit être près de l'appareil et facile d'accès.

ATTENTION

RISQUE D'EXPLOSION SI LA PILE EST REMPLACÉE PAR UNE DE TYPE INCORRECT.
DÉBARRASSEZ-VOUS DES PILES USAGÉES EN RESPECTANT LES INSTRUCTIONS.

Précautions

Sécurité

- Assurez-vous que la tension de service de votre projecteur est identique à la tension locale.
- Si du liquide ou un objet quelconque venait à pénétrer dans le boîtier, débranchez le projecteur et faites-le vérifier par un technicien qualifié avant la remise en service.
- Débranchez le projecteur de la prise murale si vous n'avez pas l'intention de l'utiliser pendant plusieurs jours.
- Pour débrancher le cordon, tirez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- La prise murale doit se trouver à proximité du projecteur et être facile d'accès.
- Le projecteur n'est pas déconnecté de la source d'alimentation (secteur) tant qu'il reste branché à la prise murale, même s'il a été mis hors tension.
- Ne regardez pas dans l'objectif lorsque la lampe est allumée.
- Ne placez pas la main ou des objets à proximité des orifices de ventilation. L'air expulsé est brûlant.
- Veillez à ne pas vous prendre les doigts dans le dispositif de réglage d'inclinaison. Le dispositif de réglage d'inclinaison motorisé du projecteur se déploie automatiquement à la mise sous tension et se rétracte automatiquement à la mise hors tension. Ne touchez pas le projecteur lorsque le dispositif de réglage d'inclinaison fonctionne. Réglez le dispositif de réglage d'inclinaison motorisé avec précaution lorsque son fonctionnement automatique est terminé.
- Ne mettez pas du tissu ou du papier sous le projecteur.

Éclairage

- Pour une qualité d'image optimale, la face avant de l'écran ne doit pas être directement exposée à une source d'éclairage ou au rayonnement solaire.
- Nous préconisons un éclairage au moyen de spots fixés au plafond. Masquez les lampes fluorescentes pour éviter une altération du niveau de contraste.
- Occultez les fenêtres qui font face à l'écran au moyen de rideaux opaques.
- Il est préférable d'installer le projecteur dans une pièce où le sol et les murs ne sont pas revêtus d'un matériau réfléchissant la lumière. Si le sol et les murs réfléchissent la lumière, nous vous recommandons de remplacer le revêtement de sol et mural par un de couleur sombre.

Prévention de la surchauffe interne

Après avoir mis le projecteur hors tension au moyen de la touche I/⏻, ne le débranchez pas de la prise murale tant que le ventilateur de refroidissement tourne.

Mise en garde

Le projecteur est équipé d'orifices de ventilation (prise d'air) et d'orifices de ventilation (sortie d'air). N'obstruez pas ces orifices et ne placez rien à proximité car ceci risquerait de provoquer une surchauffe interne pouvant entraîner une altération de l'image ou des dommages au projecteur.

Nettoyage

- Pour conserver au boîtier l'éclat du neuf, nettoyez-le régulièrement au moyen d'un chiffon doux. Pour éliminer les taches récalcitrantes, employez un chiffon légèrement imprégné d'une solution détergente neutre. N'utilisez en aucun cas des solvants puissants tels que diluant, benzène ou des agents nettoyants abrasifs car ceci pourrait endommager le fini du boîtier.
- Si le protecteur d'objectif est sali par des traces de doigts ou de la poussière qui s'y est accumulée, essuyez la surface avec un chiffon doux tel qu'un tissu de nettoyage pour lunettes. Veillez à ne pas rayer la surface du protecteur d'objectif avec un objet dur.
- Nettoyez le filtre à intervalles réguliers.

Projecteur LCD

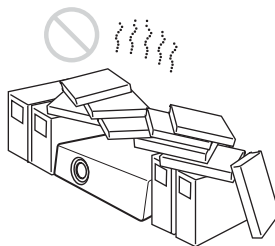
Le projecteur LCD est fabriqué avec une technologie de haute précision. Il est cependant possible que de petits points noirs et/ou lumineux (rouges, bleus ou verts) soient visibles en permanence sur le projecteur LCD. Ceci est un résultat normal du processus de fabrication et n'est pas le signe d'un dysfonctionnement.

Remarques sur l'installation et l'utilisation

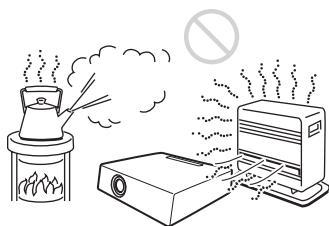
Installation déconseillée

N'installez pas le projecteur dans les conditions ci-dessous. **Une installation dans de telles conditions ou sur de tels emplacements pourrait provoquer un dysfonctionnement ou endommager** le projecteur.

FR

Mauvaise ventilation

- Assurez une circulation d'air adéquate afin d'éviter toute surchauffe interne. Ne placez pas le projecteur sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de rideaux ou de draperies susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation. En cas de surchauffe interne due à une obstruction des orifices de ventilation, le capteur de température est activé et le message « Surchauffe! Lampe OFF 1 min. » s'affiche. Le projecteur se met automatiquement hors tension après une minute.
- Laissez un espace libre de plus de 30 cm (11 7/8 pouces) autour du projecteur.

- Veillez à ce que les orifices de ventilation n'aspirent pas de petites particules telles que fragments de papier ou boules de poussière.

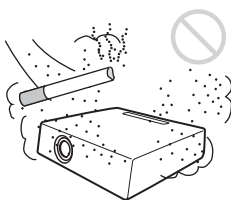
Endroits chauds et humides

- N'installez pas le projecteur dans un endroit très chaud, très humide ou très froid.
- Pour éviter la condensation d'humidité, n'installez pas le projecteur dans un endroit où la température est susceptible d'augmenter rapidement.

Endroits directement exposés au souffle froid ou chaud d'un climatiseur

L'installation du projecteur dans de tels endroits pourrait provoquer un dysfonctionnement sous l'effet de la condensation d'humidité ou de l'élévation de température.

Proximité d'un détecteur de chaleur ou de fumée

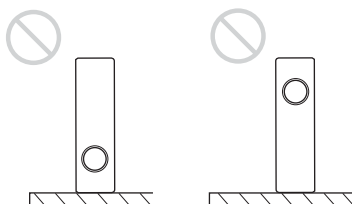
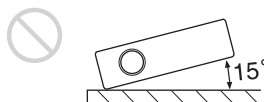
Il pourrait en résulter un dysfonctionnement du capteur.

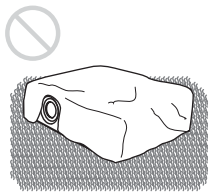
Endroits très poussiéreux ou enfumés

N'installez pas le projecteur dans un environnement très poussiéreux ou enfumé. Le filtre à air pourrait se colmater avec, pour résultat, un dysfonctionnement ou des dommages du projecteur. La poussière colmatée ferait obstacle au passage de l'air à travers le filtre et il en résulterait une surchauffe interne du projecteur. Nettoyez périodiquement le filtre.

Conditions déconseillées

N'utilisez pas le projecteur dans les conditions suivantes. Vous ne pouvez pas installer le projecteur au plafond.

Projecteur debout sur son côté

N'utilisez pas le projecteur debout sur son côté. Ceci pourrait provoquer un dysfonctionnement.

Inclinaison à droite ou à gauche

N'inclinez pas le projecteur à plus de 15º et ne l'installez pas autrement que sur une surface horizontale. Une telle installation pourrait provoquer des taches de couleurs ou raccourcir excessivement la durée de vie de la lampe.

Obstruction des orifices de ventilation

Évitez les tapis touffetés épais ou tout ce qui pourrait obstruer les orifices de ventilation (sortie d'air/prise d'air). Le projecteur risquerait autrement de surchauffer.

Placement d'un objet bloquant juste devant l'objectif

Ne placez aucun objet juste devant l'objectif qui pourrait bloquer la lumière durant la projection. La chaleur de la lumière peut endommager l'objectif.

Utilisation à haute altitude

Si vous utilisez le projecteur à une altitude de 1 500 m ou supérieure, activez « Mode haute altit. » dans le menu Installation. Si vous n'activez pas ce mode lors d'une utilisation à haute altitude, ceci pourra affecter le projecteur (diminution de la fiabilité de certaines pièces, par exemple).

Remarque sur le transport du projecteur

Le projecteur est fabriqué avec une technologie de haute précision. Lorsque vous le transportez dans la mallette de transport, veillez à ne pas le faire tomber et à ne pas le soumettre à des chocs car ceci pourrait l'endommager. Lorsque vous rangez le projecteur dans la mallette de transport, débranchez le cordon d'alimentation secteur et les autres câbles de raccordement ou cartes et rangez les accessoires fournis dans une poche de la mallette de transport.

Remarque sur l'écran

Si l'écran utilisé présente une surface irrégulière, il se peut, dans de rares cas, qu'un motif rayé apparaisse sur l'écran à certaines distances du projecteur ou certains réglages du zoom. Ceci n'est pas un dysfonctionnement du projecteur.

Avertissement pour le raccordement secteur

Utilisez le cordon d'alimentation fourni lorsque vous utilisez le projecteur dans votre pays/région. Utilisez autrement un cordon d'alimentation approprié répondant aux spécifications suivantes :

	États-Unis, Canada	Europe continentale, Corée	Royaume-Uni	Australie	Japon
Type de fiche	YP-11	YP-21	SP-61	B8	YP-13
Extrémité femelle	YC-13L	YC-13L	YC-13L	C7-2	YC-13L
Type de cordon	SPT-2	H03VVH2-F	H03VVH2-F	H03VVH2-F	VCTFK
Tension et intensité nominales	10 A/125 V	2,5 A/250 V	2,5 A/250 V	2,5 A/250 V	7 A/125 V
Approbation de sécurité	UL/CSA	VDE	BS	SAA	DENAN
Longueur de cordon (max.)	4,5 m	–	–	–	–

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de incendios o electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar recibir descargas eléctricas, no abra el aparato. Contrate exclusivamente los servicios de personal cualificado.

Tratamiento de los equipos eléctricos y electrónicos al final de su vida útil (aplicable en la Unión Europea y en países europeos con sistemas de recogida selectiva de residuos)

Este símbolo en su equipo o su embalaje indica que el presente producto no puede ser tratado como residuos domésticos normales, sino que deben entregarse en el correspondiente punto de recogida de equipos eléctricos y electrónicos. Asegurándose de que este producto es desechado correctamente, Ud. ayuda a prevenir las consecuencias negativas para el medio ambiente y la salud humana que podrían derivarse de la incorrecta manipulación de este producto. El reciclaje de materiales ayuda a conservar las reservas naturales. Para recibir información detallada sobre el reciclaje de este producto, por favor, contacte con su ayuntamiento, su punto de recogida más cercano o el distribuidor donde ha adquirido el producto.

La toma de corriente debe encontrarse cerca del equipo y ser de fácil acceso.

PRECAUCIÓN

EXISTE RIESGO DE EXPLOSIÓN SI SE SUSTITUYE LA BATERÍA POR OTRA DE UN TIPO INCORRECTO.
DESECHE LAS BATERÍAS USADAS DE ACUERDO CON LAS INSTRUCCIONES.

Precauciones

Seguridad

- Compruebe que la tensión de funcionamiento de la unidad sea la misma que la del suministro eléctrico local.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea revisada por personal especializado antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural cuando no vaya a utilizarla durante varios días.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe. Nunca tire del propio cable.
- La toma mural debe encontrarse cerca de la unidad y ser de fácil acceso.
- La unidad no estará desconectada de la fuente de alimentación de CA (toma de corriente) mientras esté conectada a la toma mural, aunque haya apagado la unidad.
- No mire al objetivo mientras la lámpara esté encendida.
- No coloque la mano ni ningún objeto cerca de los orificios de ventilación. El aire que sale es caliente.
- Tenga cuidado de no pillarse los dedos con el ajustador. El ajustador eléctrico de inclinación de esta unidad se extiende automáticamente al activar la alimentación y se repliega automáticamente al desactivarla. No toque la unidad durante el funcionamiento del ajustador. Ajuste cuidadosamente el ajustador eléctrico de inclinación una vez que haya terminado la operación automática.
- No ponga paños o papeles bajo la unidad.

Iluminación

- Con el fin de obtener imágenes con la mejor calidad posible, la parte frontal de la pantalla no debe estar expuesta a la luz solar ni a iluminaciones directas.
- Se recomienda utilizar una luz proyectora en el techo. Cubra las lámparas fluorescentes para evitar que se produzca una disminución en la relación de contraste.
- Cubra con tela opaca las ventanas que estén orientadas hacia la pantalla.
- Es recomendable instalar la unidad en una sala cuyo suelo y paredes estén hechos con materiales que no reflejen la luz. Si el suelo y las paredes están hechos de dicho tipo de material, se recomienda cambiar el color de éstos por uno oscuro.

Prevención del calentamiento interno

Después de desactivar la alimentación con la tecla **I**/⏻, no desconecte la unidad de la toma mural mientras el ventilador de refrigeración esté en funcionamiento.

Precaución

La unidad está equipada con orificios de ventilación de aspiración y de escape. No bloquee dichos orificios ni coloque nada cerca de ellos, ya que si lo hace puede producirse un recalentamiento interno, causando el deterioro de la imagen o daños al proyector.

Limpieza

- Para mantener el exterior de la unidad como nuevo, límpielo periódicamente con un paño suave. Las manchas persistentes pueden eliminarse con un paño ligeramente humedecido en una solución detergente suave. No utilice nunca disolventes concentrados, como diluyente, bencina o limpiadores abrasivos, ya que dañarán el exterior.
- Si la protección del objetivo se mancha por los dedos o por el polvo acumulado, limpie la superficie con un paño suave, tal como un paño para la limpieza de vidrio. Tenga cuidado de no arañar la superficie de la protección del objetivo con objetos duros.
- Limpie el filtro con regularidad.

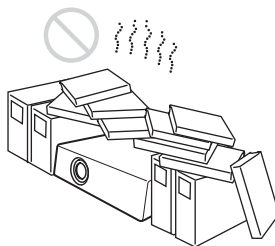
Proyector de datos LCD

Este proyector de datos LCD está fabricado con tecnología de alta precisión. No obstante, es posible que se observen pequeños puntos negros, brillantes (rojos, azules o verdes) o ambos, de forma continua, en el proyector de datos LCD. Se trata de un resultado normal del proceso de fabricación y no indica fallo de funcionamiento.

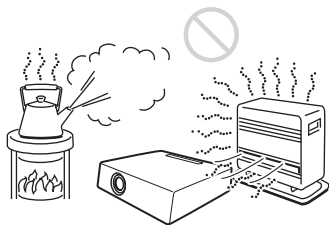
Notas sobre la instalación y el uso

Instalación inadecuada

No instale el proyector en las siguientes situaciones. **La instalación en estas situaciones o ubicaciones puede provocar averías o daños** a la unidad.

Ubicaciones escasamente ventiladas

- Permita una circulación de aire adecuada para evitar el recalentamiento interno. No coloque la unidad sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices, etc.) que puedan bloquear los orificios de ventilación. Si se produce recalentamiento interno debido al bloqueo de los orificios de ventilación, el sensor de temperatura se activará y aparecerá el mensaje "Temperatura alta! Apag. 1 min.". La alimentación se desactivará automáticamente tras un minuto.
- Deje un espacio superior a 30 cm (11 7/8 pulgadas) alrededor de la unidad.
- Tenga cuidado de evitar que los orificios de ventilación inhalen pequeños objetos tales como pedazos de papel o pelusas.

ES

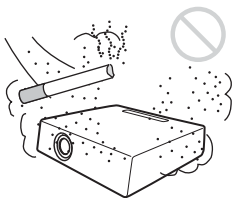
Lugares cálidos y húmedos

- Evite instalar la unidad en lugares en los que la temperatura o la humedad sean muy elevadas, o en los que la temperatura sea muy baja.
- Para evitar que se condense humedad, no instale la unidad en lugares en los que la temperatura pueda aumentar rápidamente.

Lugares expuestos a un flujo directo de aire frío o caliente procedente de un aire acondicionador

Si instala el proyector en una ubicación de estas características, la unidad puede averiarse debido a la condensación de humedad o al aumento de temperatura.

Cerca de un sensor de calor o de humo

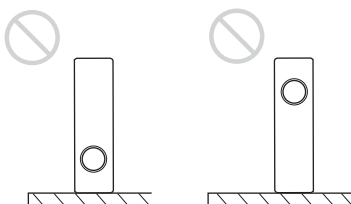
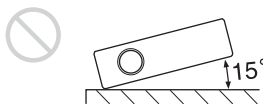
Puede producirse una avería del sensor.

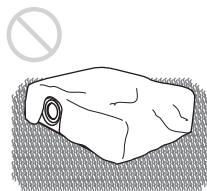
Lugares con mucho polvo o humo excesivo

Evite instalar la unidad en un entorno en el que haya un exceso de polvo o humo. Si lo hace, el filtro de aire se obstruirá, y es posible que la unidad se averíe o no funcione correctamente. El polvo, que impide que el aire pase por el filtro, puede provocar que la temperatura interna de la unidad aumente. Limpie el filtro regularmente.

Condiciones inadecuadas

No emplee el proyector en las siguientes condiciones. El proyector no se puede instalar en el techo.

Colocar la unidad en posición vertical sobre un lateral

Evite utilizar la unidad en posición vertical apoyada en un lateral. Pueden producirse fallos de funcionamiento.

Unidad inclinada a la izquierda o a la derecha

Evite inclinar la unidad hasta un ángulo de 15°, así como instalarla en cualquier lugar que no sea sobre una superficie plana. Una instalación así puede provocar sombras de color o acortar excesivamente la vida de la lámpara.

Bloqueo de los orificios de ventilación

Evite utilizar alfombras gruesas ni cualquier otra cosa que cubra los orificios de ventilación (escape/aspiración); de lo contrario, es posible que se produzca un recalentamiento interno.

Colocar un objeto justo delante del objetivo

No coloque ningún objeto justo delante del objetivo que pueda bloquear la luz durante la proyección. El calor de la luz puede dañar el objeto.

Uso a altitudes elevadas

Si utiliza el proyector a altitudes de 1.500 m o más, active el "Modo gran altitud" en el menú Instalación. Si no se establece este modo cuando se utiliza el proyector a altitudes elevadas pueden producirse efectos adversos, tales como la reducción de la fiabilidad de determinados componentes.

Nota sobre el transporte del proyector

La unidad se ha fabricado con tecnología de alta precisión. Cuando transporte la unidad almacenada en la maleta de transporte, no permita que se caiga ni sufra ningún golpe, ya que puede dañarse. Cuando almacene la unidad en la maleta de transporte, desconecte el cable de alimentación de CA, todos los demás cables de conexión y las tarjetas, y almacene los accesorios que se suministran en un bolsillo de la maleta.

Nota sobre la pantalla

Cuando utilice una pantalla de superficie irregular, en raras ocasiones aparecerán patrones de bandas en la pantalla, dependiendo de la distancia entre la pantalla y el proyector y de la configuración de ampliación del zoom. Esto no significa una avería del proyector.

Advertencia sobre la conexión de alimentación

Cuando utilice el proyector en su país o región, utilice el cable de alimentación que se suministra. En cualquier otro caso, utilice un cable de alimentación correcto que cumpla las especificaciones siguientes.

	Estados Unidos, Canadá	Europa continental, Corea	Reino Unido	Australia	Japón
Tipo de enchufe	YP-11	YP-21	SP-61	B8	YP-13
Extremo hembra	YC-13L	YC-13L	YC-13L	C7-2	YC-13L
Tipo de cable	SPT-2	H03VVH2-F	H03VVH2-F	H03VVH2-F	VCTFK
Corriente y tensión nominal	10A/125V	2,5A/250V	2,5A/250V	2,5A/250V	7A/125V
Aprobación de seguridad	UL/CSA	VDE	BS	SAA	DENAN
Longitud del cable (máx.)	4,5 m	–	–	–	–

WARNUNG

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlags zu vermeiden, setzen Sie das Gerät weder Regen noch sonstiger Feuchtigkeit aus.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, öffnen Sie nicht das Gehäuse. Überlassen Sie Wartungsarbeiten nur qualifiziertem Fachpersonal.

Entsorgung von gebrauchten elektrischen und elektronischen Geräten (anzuwenden in den Ländern der Europäischen Union und anderen europäischen Ländern mit einem separaten Sammelsystem für diese Geräte)

Das Symbol auf dem Produkt oder seiner Verpackung weist darauf hin, dass dieses Produkt nicht als normaler Haushaltsabfall zu behandeln ist, sondern an einer Annahmestelle für das Recycling von elektrischen und elektronischen Geräten abgegeben werden muss. Durch Ihren Beitrag zum korrekten Entsorgen dieses Produkts schützen Sie die Umwelt und die Gesundheit Ihrer Mitmenschen. Umwelt und Gesundheit werden durch falsches Entsorgen gefährdet. Materialrecycling hilft den Verbrauch von Rohstoffen zu verringern. Weitere Informationen über das Recycling dieses Produkts erhalten Sie von Ihrer Gemeinde, den kommunalen Entsorgungsbetrieben oder dem Geschäft, in dem Sie das Produkt gekauft haben.

Die Steckdose sollte sich in der Nähe des Gerätes befinden und leicht zugänglich sein.

VORSICHT

WIRD DIE BATTERIE DURCH EINEN FALSCHEN TYP ERSETZT, BESTEHT EXPLOSIONSGEFAHR.
ENTSORGEN SIE VERBRAUCHTE BATTERIEN GEMÄSS DEN ANWEISUNGEN.

Vorsichtsmaßnahmen

Sicherheit

- Vergewissern Sie sich, dass die Betriebsspannung Ihres Gerätes mit der Spannung Ihrer örtlichen Stromversorgung übereinstimmt.
- Sollten Flüssigkeiten oder Fremdkörper in das Gehäuse gelangen, ziehen Sie das Netzkabel ab, und lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Soll das Gerät einige Tage lang nicht benutzt werden, trennen Sie es von der Netzsteckdose.
- Ziehen Sie zum Trennen des Kabels am Stecker. Niemals am Kabel selbst ziehen.
- Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Gerätes befinden und leicht zugänglich sein.
- Das Gerät ist auch im ausgeschalteten Zustand nicht vollständig vom Stromnetz getrennt, solange der Netzstecker noch an der Netzsteckdose angeschlossen ist.
- Blicken Sie bei eingeschalteter Lampe nicht in das Objektiv.
- Halten Sie Ihre Hände oder Gegenstände von den Lüftungsöffnungen fern. Die austretende Luft ist heiß.
- Achten Sie darauf, dass Sie sich nicht die Finger am Einstellfuß klemmen. Der elektrische Neigungseinstellfuß dieses Gerätes wird beim Ein- und Ausschalten der Stromversorgung automatisch aus- und eingefahren. Berühren Sie das Gerät nicht, während der Einstellfuß in Betrieb ist. Stellen Sie den elektrischen Neigungseinstellfuß sorgfältig ein, nachdem sein automatischer Betrieb beendet ist.
- Stellen Sie das Gerät nicht auf ein Tuch oder Papier.

Beleuchtung

- Um eine optimale Bildqualität zu erhalten, darf die Vorderseite der Leinwand keiner direkten Beleuchtung oder dem Sonnenlicht ausgesetzt sein.
- Deckenmontierte Punktstrahler sind zu empfehlen. Decken Sie Leuchtstofflampen ab, um eine Senkung des Kontrastverhältnisses zu vermeiden.
- Verdecken Sie zur Leinwand gewandte Fenster mit undurchsichtigen Vorhängen.
- Es ist wünschenswert, den Projektor in einem Raum zu installieren, dessen Boden und Wände nicht aus lichtreflektierendem Material bestehen. Bestehen Fußboden und Wände aus reflektierendem Material, wird empfohlen, Teppichboden und Tapete durch eine dunklere Art zu ersetzen.

Verhütung eines internen Wärmestaus

Nachdem Sie das Gerät mit der Taste I/⏻ ausgeschaltet haben, trennen Sie es nicht von der Netzsteckdose, solange der Lüfter noch läuft.

Vorsicht

Der Projektor ist mit Lüftungsöffnungen (Einlass und Auslass) ausgestattet. Der Luftstrom durch diese Öffnungen darf nicht blockiert oder durch in der Nähe abgestellte Gegenstände behindert werden, weil es sonst zu einem internen Wärmestau kommen kann, der eine Verschlechterung der Bildqualität oder Beschädigung des Projektors zur Folge haben kann.

Reinigung

- Damit das Gehäuse immer wie neu aussieht, reinigen Sie es regelmäßig mit einem weichen Tuch. Hartnäckiger Schmutz kann mit einem Tuch entfernt werden, das Sie leicht mit einem milden Reinigungsmittel angefeuchtet haben. Verwenden Sie auf keinen Fall starke Lösungsmittel, wie Verdünner, Benzin oder Scheuermittel, weil diese das Gehäuse beschädigen.
- Falls der Objektivschutz durch Fingerabdrücke oder Staub verschmutzt wird, wischen Sie die Oberfläche mit einem weichen Tuch (z.B. Glasreinigungstuch) ab. Achten Sie darauf, dass die Oberfläche des Objektivschutzes nicht mit einem harten Gegenstand verkratzt wird.
- Reinigen Sie den Filter in regelmäßigen Abständen.

LCD-Datenprojektor

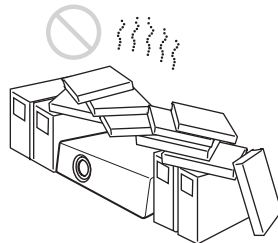
Der LCD-Datenprojektor wurde unter Einsatz von Präzisionstechnologie hergestellt. Es kann jedoch sein, dass im Projektionsbild des LCD-Datenprojektors ständig winzige schwarze und/oder helle Punkte (rote, blaue oder grüne) enthalten sind. Dies ist ein normales Ergebnis des Herstellungsprozesses und ist kein Anzeichen für eine Funktionsstörung.

Hinweise zu Installation und Gebrauch

Ungeeignete Installation

Installieren Sie den Projektor nicht unter den folgenden Bedingungen. **Eine Installation in diesen Situationen oder an diesen Orten kann eine Funktionsstörung oder Beschädigung** des Gerätes verursachen.

DE

Schlecht belüftete Orte

- Sorgen Sie für ausreichende Luftzirkulation, um einen internen Wärmestau zu vermeiden. Stellen Sie das Gerät nicht auf Flächen (Teppiche, Decken usw.) oder in die Nähe von Materialien (Vorhänge, Gardinen), welche die Lüftungsöffnungen blockieren

können. Wenn es wegen einer Blockierung der Lüftungsöffnungen zu einem internen Wärmestau kommt, wird der Temperatursensor aktiviert und die Meldung „Zu heiß! Lampe aus in 1 Min.“ angezeigt. Der Projektor schaltet sich nach einer Minute automatisch aus.

- Halten Sie einen Abstand von mindestens 30 cm um das Gerät ein.
- Achten Sie darauf, dass keine winzigen Gegenstände, wie z.B. Papier- oder Staubpartikel, durch die Lüftungsöffnungen angesaugt werden.

Heiße und feuchte Orte

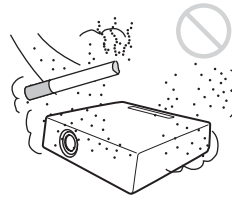
- Vermeiden Sie die Installation des Gerätes an einem Ort, der eine hohe Luftfeuchtigkeit oder sehr hohe oder niedrige Temperaturen aufweist.
- Um Feuchtigkeitskondensation zu vermeiden, installieren Sie das Gerät nicht an einem Ort, an dem die Temperatur plötzlich ansteigen kann.

Orte, die direkter Kalt- oder Warmluft von einer Klimaanlage ausgesetzt sind

Die Installation des Projektors an einem solchen Ort kann zu einer Funktionsstörung führen, die durch Feuchtigkeitskondensation oder Temperaturanstieg verursacht wird.

In der Nähe eines Wärme- oder Rauchsensors

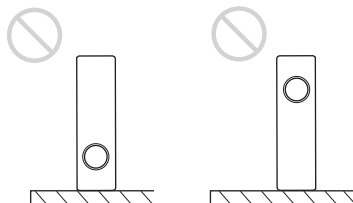
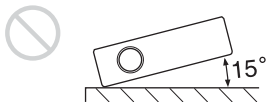
Es kann zu einer Funktionsstörung des Sensors kommen.

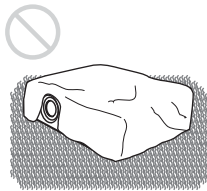
Sehr staubige oder extrem rauchige Orte

Vermeiden Sie die Installation des Geräts in sehr staubiger oder extrem rauchiger Umgebung. Anderenfalls setzt sich der Luftfilter zu, was zu einer Funktionsstörung oder Beschädigung des Geräts führen kann. Ein mit Staub zugesetzter Luftfilter kann einen Anstieg der internen Temperatur des Geräts verursachen. Reinigen Sie den Filter regelmäßig.

Ungeeignete Bedingungen

Benutzen Sie den Projektor nicht unter den folgenden Bedingungen. Der Projektor kann nicht an der Decke installiert werden.

Hochkantstellung auf einer Seite

Stellen Sie den Projektor zum Gebrauch nicht hochkant auf die Seite. Dies kann zu einer Funktionsstörung führen.

Nach rechts oder links geneigt

Vermeiden Sie Neigen des Projektors auf einen Winkel von 15° oder eine andere Installationsweise als die Aufstellung auf einer ebenen Fläche. Eine solche Installation kann Farbschattierung oder eine beträchtliche Verkürzung der Lampenlebensdauer verursachen.

Blockieren der Lüftungsöffnungen

Vermeiden Sie die Benutzung auf einem hochflorigen Teppich oder das Abdecken mit Material, das die Lüftungsöffnungen (Auslass/Einlass) blockiert, weil es sonst zu einem internen Wärmestau kommen kann.

Platzierung eines Hindernisses direkt vor dem Objektiv

Stellen Sie keinen Gegenstand, der das Licht während der Projektion blockiert, direkt vor dem Objektiv. Die Wärme des Lichts könnte den Gegenstand beschädigen.

Benutzung in Höhenlagen

Wenn Sie den Projektor in Höhenlagen über 1.500 m benutzen, aktivieren Sie den „Höhenlagenmodus" im Menü Installation. Wird dieser Modus bei Verwendung des Projektors in Höhenlagen nicht aktiviert, kann dies negative Folgen haben, wie z.B. die Verschlechterung der Zuverlässigkeit bestimmter Komponenten.

Hinweis zum Tragen des Projektors

Der Projektor wurde unter Einsatz von Präzisionstechnologie hergestellt. Lassen Sie den Projektor nicht fallen, und setzen Sie ihn auch keinen Erschütterungen aus, wenn Sie ihn in der Tragetasche transportieren, weil er sonst beschädigt werden kann. Wenn Sie den Projektor in der Tragetasche aufbewahren, trennen Sie das Netzkabel und alle anderen Verbindungskabel oder Karten ab, und verstauen Sie das mitgelieferte Zubehör in einem Fach der Tragetasche.

Hinweis zur Leinwand

Wenn Sie eine Leinwand mit rauer Oberfläche verwenden, können je nach dem Abstand zwischen der Leinwand und dem Projektor oder der verwendeten Zoomvergrößerung manchmal Streifenmuster auf der Leinwand erscheinen. Dies ist keine Funktionsstörung des Projektors.

Warnung zum Stromanschluss

Verwenden Sie das mitgelieferte Netzkabel, wenn Sie den Projektor in Ihrem Land/Gebiet verwerden. Oder verwenden Sie ein geeignetes Netzkabel, das die folgenden Spezifikationen erfüllt.

	Vereinigte Staaten, Kanada	Kontinentales Europa, Korea	Großbritannien	Australien	Japan
Steckertyp	YP-11	YP-21	SP-61	B8	YP-13
Buchsenende	YC-13L	YC-13L	YC-13L	C7-2	YC-13L
Kabeltyp	SPT-2	H03VVH2-F	H03VVH2-F	H03VVH2-F	VCTFK
Nennspannung & Stromstärke	10A/125V	2,5A/250V	2,5A/250V	2,5A/250V	7A/125V
Sicherheitszulassung	UL/CSA	VDE	BS	SAA	DENAN
Kabellänge (max.)	4,5 m	–	–	–	–

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendio o di scossa elettrica, non esporre l'apparecchio alla pioggia o all'umidità.

Per evitare il pericolo di scosse elettriche, non aprire l'apparecchio. Rivolgersi esclusivamente a personale qualificato.

Trattamento del dispositivo elettrico od elettronico a fine vita (applicabile in tutti i paesi dell'Unione Europea e in quelli con sistema di raccolta differenziata)

Questo simbolo sul prodotto o sulla confezione indica che il prodotto non deve essere considerato come un normale rifiuto domestico, ma deve invece essere consegnato ad un punto di raccolta appropriato per il riciclo di apparecchi elettrici ed elettronici. Assicurandovi che questo prodotto sia smaltito correttamente, voi contribuirete a prevenire potenziali conseguenze negative per l'ambiente e per la salute che potrebbero altrimenti essere causate dal suo smaltimento inadeguato. Il riciclaggio dei materiali aiuta a conservare le risorse naturali. Per informazioni più dettagliate circa il riciclaggio di questo prodotto, potete contattare l'ufficio comunale, il servizio locale di smaltimento rifiuti oppure il negozio dove l'avete acquistato.

La presa di corrente dovrebbe essere installata vicino all'apparecchio e facilmente accessibile.

ATTENZIONE

PERICOLO DI ESPLOSIONE SE SI SOSTITUISCE LA PILA CON UNA DI TIPO DIVERSO.
SMALTIRE LE PILE USATE SECONDO LE ISTRUZIONI.

Precauzioni

Sicurezza

- Verificare che la tensione di funzionamento dell'unità corrisponda alla tensione della rete elettrica locale.
- Se liquidi o solidi dovessero cadere sul mobile, scollegare l'unità e farla controllare da personale qualificato prima di usarla nuovamente.
- Se l'unità non sarà utilizzata per diversi giorni, scollegarla dalla presa a muro.
- Per scollegare il cavo, tirarlo fuori afferrando la spina. Non tirare mai direttamente il cavo.
- La presa a muro dovrebbe essere vicina all'unità e facilmente accessibile.
- L'unità non è scollegata dalla sorgente di alimentazione c.a. finché è collegata alla presa a muro, anche se l'unità stessa è stata spenta.
- Non guardare dentro l'obiettivo quando la lampada è accesa.
- Non mettere le mani o degli oggetti vicino alle aperture di ventilazione. L'aria che ne fuoriesce è calda.
- Prestare attenzione a non pizzicare le dita nel dispositivo di regolazione. Il dispositivo di regolazione asservito di questa unità si allunga automaticamente quando viene accesa l'alimentazione; rientra automaticamente quando l'alimentazione viene spenta. Non toccare l'unità quando il dispositivo di regolazione è in funzionamento. Regolare con attenzione il dispositivo di regolazione asservito dopo che il suo funzionamento automatico è terminato.
- Non stendere un panno o della carta sotto l'unità.

Illuminazione

- Per ottenere l'immagine migliore, la parte anteriore dello schermo non dovrebbe essere esposta a illuminazione diretta o alla luce del sole.
- Si consiglia illuminazione con faretti sul soffitto. Usare degli schermi sopra alle lampade fluorescenti, per non diminuire il rapporto del contrasto.
- Coprire eventuali finestre davanti allo schermo con tendaggi opachi.
- Si consiglia di installare il proiettore in un locale in cui il pavimento e pareti siano di materiali non riflettenti. Se il pavimento e le pareti fossero di materiali riflettenti, si consiglia di cambiare tappeti e tappezzeria in modo che siano di colore scuro.

Evitare il surriscaldamento interno

Dopo aver spento l'alimentazione con il tasto I/⏻, non scollegare l'unità dalla presa a muro mentre la ventola di raffreddamento sta ancora girando.

Attenzione

L'unità è dotata di aperture di ventilazione di aspirazione e di scarico. Non ostruire o mettere alcun oggetto vicino a queste aperture; potrebbe verificarsi surriscaldamento interno, provocando un peggioramento dell'immagine o danneggiamento del proiettore.

Pulizia

- Affinché il mobile mantenga un aspetto nuovo, pulirlo periodicamente con un panno morbido. È possibile rimuovere macchie resistenti usando un panno leggermente imbevuto di una soluzione leggermente detergente. Non usare mai solventi aggressivi, quali diluente, benzene o prodotti di pulizia abrasivi che danneggerebbero il mobile.
- Se il copriobiettivo è sporco per la presenza di ditate o per accumulo di polvere, pulire la superficie con un panno morbido quale un panno per pulire il vetro. Prestare attenzione a non graffiare la superficie del copriobiettivo con oggetti contundenti.
- Pulire il filtro a intervalli regolari.

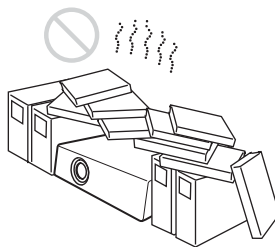
Proiettore dati a LCD

Questo proiettore dati a LCD è prodotto con una tecnologia di alta precisione. Tuttavia, potrebbero essere costantemente visibili sul proiettore dati LCD dei puntini neri e/o luminosi (rossi, blu o verdi). Questo è un risultato normale del processo di fabbricazione e non costituisce un guasto.

Note sull'uso e l'installazione

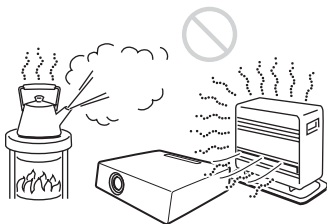
Posizioni di installazione inadatte

Non installare il proiettore nelle seguenti posizioni. **L'installazione in queste posizioni o ambienti potrebbe causare un malfunzionamento o guasto** dell'unità.

Posizioni con ventilazione insufficiente

- Fare in modo che la circolazione dell'aria sia adeguata ad evitare il surriscaldamento interno. Non mettere l'unità su superfici (tappeti,coperte ecc.) o vicino a materiali (tende, drappeggi) che potrebbero ostruire le aperture di ventilazione. In presenza di surriscaldamento interno dovuto all'ostruzione delle aperture di ventilazione, il sensore di temperatura interviene e sarà visualizzato il messaggio "Temp. alta! Lamp. off 1 min.". L'alimentazione si spegnerà automaticamente dopo un minuto.
- Lasciare uno spazio maggiore di 30 cm intorno all'unità.

IT

- Fare attenzione che particelle di polvere, di carta o similari non vengano aspirate dalle aperture di ventilazione.

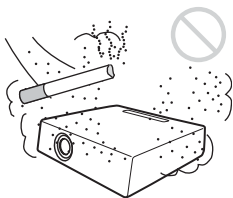
Caldo e umido

- Non installare l'unità in una posizione dove la temperatura o l'umidità è molto elevata o la temperatura è molto bassa.
- Per evitare la condensazione dell'umidità, non installare l'unità in una posizione dove la temperatura potrebbe salire rapidamente.

Posizioni esposte a flusso diretto di aria fresca o calda proveniente da un condizionatore

Installando il proiettore in tali posizioni, potrebbe verificarsi un malfunzionamento dell'unità causato dalla condensazione dell'umidità o all'aumento della temperatura.

Vicino a un sensore di calore o di fumo

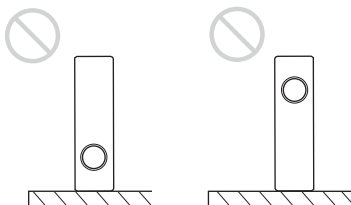
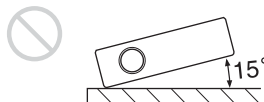
Potrebbe verificarsi un malfunzionamento del sensore.

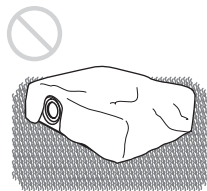
Posizioni molto polverose o estremamente fumose

Non installare l'unità in un ambiente molto polveroso o estremamente fumoso. Ciò potrebbe intasare il filtro, causando un malfunzionamento o guasto dell'unità. La polvere che impedisce il passaggio dell'aria attraverso il filtro potrebbe causare un aumento della temperatura interna dell'unità. Pulire periodicamente il filtro.

Condizioni inadatte

Non usare il proiettore nelle seguenti condizioni. Non è possibile installare il proiettore sul soffitto.

Unità verticale appoggiata su un lato

Non usare l'unità verticale appoggiata su un lato. Potrebbe causare un malfunzionamento.

Unità inclinata a destra o a sinistra

Non inclinare l'unità di più di 15° ed evitare di installarla in posizioni diverse da una superficie in piano. Un'installazione di questo genere potrebbe causare l'apparizione di sfumature di colore o diminuire molto la vita utile della lampada.

Aperture di ventilazione ostruite

Non usare un tappeto spesso o altro che ostruisca le aperture di ventilazione (scarico/aspirazione), per evitare il surriscaldamento interno.

Oggetti davanti all'obiettivo

Non mettere alcun oggetto davanti all'obiettivo affinché non oscuri la luce durante la proiezione. Il calore del fascio luminoso potrebbe danneggiare l'oggetto.

Uso a quote elevate

Quando si usa il proiettore a una quota di 1.500 m o superiore, attivare il "Modo quota el." nel menu Installazione. Se non viene impostato questo modo e il proiettore è usato a quote elevate, potrebbero verificarsi degli effetti negativi, quale la diminuzione dell'affidabilità di determinati componenti.

Nota sul trasporto del proiettore

L'unità è prodotta con una tecnologia di alta precisione. Nel trasportare l'unità nella custodia per il trasporto, non lasciarla cadere o sottoporla ad urti che potrebbero danneggiarla. Per riporre l'unità nella custodia per il trasporto, scollegare il cavo di alimentazione c.a. e tutti gli altri cavi di collegamento o schede, quindi mettere tutti gli accessori in dotazione in una tasca della custodia.

Nota sullo schermo

Se viene utilizzato uno schermo di superficie disuniforme, potrebbe apparire talvolta un motivo a righe in funzione della distanza fra lo schermo e il proiettore o delle impostazioni di ingrandimento dello zoom. Non si tratta di un malfunzionamento del proiettore.

Avvertenza sul collegamento dell'alimentazione

Utilizzare il proiettore nel proprio paese/regione usando il cavo di alimentazione fornito. Diversamente, usare un cavo di alimentazione adatto che sia conforme alle caratteristiche tecniche che seguono.

	Stati Uniti d'America, Canada	Europa continentale, Corea	Regno Unito	Australia	Giappone
Tipo di spina	YP-11	YP-21	SP-61	B8	YP-13
Estremità con femmina	YC-13L	YC-13L	YC-13L	C7-2	YC-13L
Tipo di cavo	SPT-2	H03VVH2-F	H03VVH2-F	H03VVH2-F	VCTFK
Tensione e corrente nominale	10A/125V	2,5A/250V	2,5A/250V	2,5A/250V	7A/125V
Norme di sicurezza	UL/CSA	VDE	BS	SAA	DENAN
Lunghezza del cavo (max.)	4,5 m	–	–	–	–

警告

为降低火灾或电击的危险，请勿将本设备暴露在雨中或湿气中。

不要打开本机机壳，以免遭受电击。除非是本公司指定的合格技术员，否则请勿进行维修。

输出插座应安装于设备附近使用方便的地方。

警告

如果更换为不当类型的电池，有发生爆炸的危险。
请根据使用说明书的指示处置用过的电池。

廢電池請回收
僅適用於台灣

使用前须知

安全须知

- 请检查本机的工作电压是否与当地的供电电压一致。
- 万一有液体或固体落入机壳内，请拔下本机的电源插头，并请专业技术人员检查后再使用。
- 数日不使用本机时，请将本机的电源插头从墙上电源插座拔出。
- 拔电源线时，请手持插头将其拔出。切勿拉扯电线本身。
- 墙上电源插座应安装于设备附近使用方便的地方。
- 即使本机的电源已经关闭，只要其插头还连接在墙上电源插座上，本机便未脱离交流电源。
- 投影灯点亮时，请不要直视镜头。
- 请不要将手或物品放在通风孔附近。排出的空气较热。
- 小心不要让手指卡在调节器里。本机的动力倾斜度调节器在电源接通时自动伸出，在电源关闭时自动缩回。在调节器工作期间，请不要触摸本机。在动力倾斜度调节器完成自动操作后，小心地对其进行调整。
- 请不要在本机下面铺放布或纸。

照明

- 为了获得最佳图像，不应该让屏幕的前面暴露在直射照明或阳光下。
- 推荐使用安装在天花板上的聚光灯照明。使用盖子遮盖荧光灯以防止对比度下降。
- 用不透明的帷幕遮盖所有面向屏幕的窗户。
- 建议将本机安装在地板和墙壁未采用反光材料的房间里。如果地板和墙壁采用反光材料，建议将地毯和壁纸换成暗色。

防止内部蓄热

用 I/⏻ 键关闭电源后，在冷却扇还在运转时，请勿将本机的电源插头从墙上电源插座上拔出。

警告

本机配备有通风孔（进气）和通风孔（排气）。请勿堵塞通风孔或将任何物品放在通风孔旁边，否则可能发生内部蓄热，造成影像质量下降或损坏投影机。

清洁

- 为了让机壳外观保持新品状态，请定期用软布清扫。用稍蘸中性洗涤剂的布可以除去顽固的污渍。请勿使用如稀释剂、苯或研磨清洁剂一类的烈性溶剂，因为这些溶剂会损伤机壳。
- 如果镜头保护器上粘上指纹或堆积灰尘而变脏时，请使用诸如眼镜清洁布之类的软布擦拭镜头保护器的表面。小心不要用坚硬的物体划伤镜头保护器的表面。
- 请定期清洁滤网。

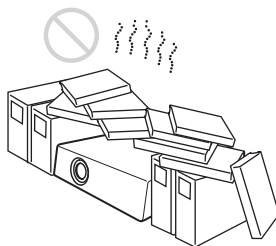
LCD 数据投影机

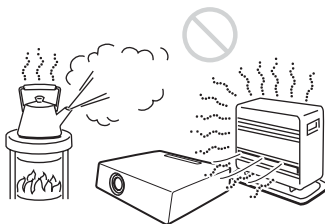
本 LCD 数据投影机采用高精密度技术制造。然而，可能会在 LCD 数据投影机的图像上持续显示微小的黑点和 / 或亮点（红色、蓝色或绿色）。这是制造过程的正常结果，不代表故障。

有关安装和使用的注意事项

不当安装

请不要在下列场合安装投影机。**在这些场合或场所安装可能会引起故障或损坏本机。**

通风不良的场所

- 应保持通风良好以防止内部蓄热。请不要将本机放在可能堵塞通风孔的物品表面（垫子、毯子等）或附近（窗帘、帷帐）。当由于通风孔堵塞而造成内部蓄热时，温度传感器会工作并显示 "操作温度过高！将在 1 分钟之后关灯" 的信息。1 分钟之后电源将自动关闭。
- 请在本机周围留出大于 30 cm 的空间。
- 小心不要让通风孔吸入诸如纸片或聚积的灰尘一类的微小物体。

热和潮湿

- 请避免将本机安装在温度或湿度非常高，或温度非常低的场所。
- 为了避免水气凝结，请不要将本机安装在温度可能会急剧上升的场所。

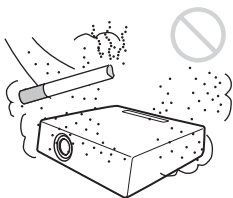
CS

受空调的冷暖风直接吹拂的场所

在这样的场所安装投影机可能会由于水气凝结或温度升高而导致本机故障。

高温或烟雾传感器附近

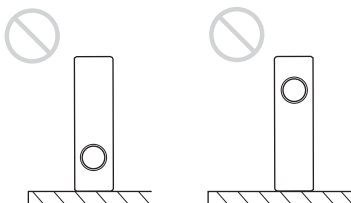
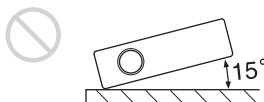
可能会造成传感器失灵。

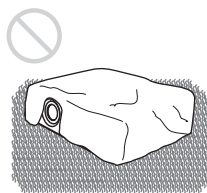
多尘、多烟雾的场所

勿将本机安装在多尘或多烟雾的环境中。否则，空气滤网会被堵塞，并可能导致本机故障或损坏。灰尘会阻挡空气透过滤网，从而可能导致投影机内部温度升高。请定期清洁滤网。

不合适的条件

请不要在下述条件下使用投影机。无法在天花板上安装投影机。

侧放本机

勿将本机侧放使用。这可能会引起故障。

向右或向左倾斜本机

请勿将本机倾斜 15 度的角度，除了在水平表面放置以外，请勿使用任何其它方法安装本机。这样的安装可能会造成彩色阴影或极度缩短投影灯寿命。

堵塞通风孔

请勿使用厚毛地毯或其他物品遮盖通风孔 （排气／进气）；否则可能会造成内部热量蓄积。

在镜头面前放置遮挡物品

请勿在投影期间在镜头面前放置可能会遮挡光线的物品。 来自光线的热量可能会造成物品损坏。

在高海拔地区使用

当在海拔 1,500 m 或更高的地区使用投影机时，请打开安装设定菜单中的 “高海拔高度模式”。
当在高海拔地区使用投影机时，如果没有设定此模式，可能会产生不利的影响，诸如降低某些组件的可靠性。

关于搬运投影机的注意事项

本机使用高精密度技术制造。当运输存放于软包内的本机时，切勿令本机掉落或使其遭受撞击，因为这样可能会造成损坏。当将本机存放于软包中时，请断开交流电源线以及所有其它连接着的电缆或导线，并将随机附带的附件保存在软包的口袋里。

关于屏幕的注意事项

当在不平整的表面上使用屏幕时，根据屏幕与投影机之间的距离或变焦放大倍数的设定的不同，偶尔可能会在屏幕上出现条纹图案。这并非投影机的故障。

有关电源连接的警告

在您的国家 / 地区使用投影机时，请使用随机附带的电源线。另外，也可以使用符合下述规格的适当的电源线。

	美国、加拿大	欧共体、韩国	英国	澳大利亚	日本
插头类型	YP-11	YP-21	SP-61	B8	YP-13
雌性端子	YC-13L	YC-13L	YC-13L	C7-2	YC-13L
电线类型	SPT-2	H03VVH2-F	H03VVH2-F	H03VVH2-F	VCTFK
额定电压和电流	10A/125V	2.5A/250V	2.5A/250V	2.5A/250V	7A/125V
安全合格标准	UL/CSA	VDE	BS	SAA	DENAN
电线长度 （最大）	4.5 m	-	-	-	-

製品ご相談窓口のご案内

【プロジェクターの技術相談窓口】

テクニカルインフォメーションセンター	
電話番号：	0586-25-6170 （電話のおかけ間違いにご注意下さい）
受付時間：	月～金曜日　午前９時～午後８時 土日、祝日　午前９時～午後５時

製品の品質には万全を期しておりますが、万一本機のご使用中に、正常に動作しないなどの不具合が生じた場合は、上記の『テクニカルインフォメーションセンター』までご連絡ください。修理に関する御案内をさせていただきます。

http://www.sony.net/

この説明書は 100% 古紙再生紙と VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。
部品電極を含むすべてのはんだ付けに無鉛はんだを使用
キャビネットおよびプリント配線板にハロゲン系難燃剤を不使用
包装用緩衝材から発泡スチロールを全廃
待機消費電力　0.8W
Printed on 100% recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.
Lead-free solder is used for soldering all the parts including circuit component electrodes.
Halogenated flame retardants are not used in cabinets and printed wiring boards.
Packaging cushions do not use polystyrene foam.
Standby power consumption: 0.8W

Sony Corporation　Printed in Japan

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35